

【 まちの将来像6 】

心がけから行動へ
みんなで創る環境にやさしいまち

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施 策	6-1	いごこちの良い生活環境をたもつ
施策の方向性	大気・水環境等の環境監視による環境の把握に努めるとともに、事業者に対する指導や公共下水道・公設浄化槽の整備による環境の保全対策を進めます。また、環境美化などについての意識啓発を進め、市民一人ひとりのマナーが向上し、いごこちの良い生活環境を保ちます。	
取 組 ★:重点プラン 該当取組	1	健康に過ごすことができる生活環境の保全
	2	新たな環境課題への対応
	3	快適環境の保全
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-1-1		健康に過ごすことができる生活環境の保全										
1	事業名	大気汚染防止法等関連事務事業												
	目的 及び 概要	工場・事業場の事業活動や建築物の解体等に伴うばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出を規制する等により、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H 31 年度	内 容	①届出の受理及び審査 ②立入調査 ③特定粉じん等測定業務委託						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
											H34 年度	継続		
											H35 年度	継続		
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	1.0	H35 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
2	事業名	水質汚濁防止法等関連事務事業												
	目的 及び 概要	工場・事業場からの排水水及び地下浸透水について規制を行なうほか、生活排水対策を講じる等により、公共用水域及び地下水の水質の汚濁の防止を図り、もって市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H 31 年度	内 容	①届出の受理及び審査 ②立入調査 ③排水測定 ④指導・助言 ⑤検査用機器の購入						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H32 年度	臨時 拡充		
											H33 年度	継続		
											H34 年度	継続		
											H35 年度	臨時 拡充		
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.7	うち市負担分 (百万円)	2.7	H35 年度	臨時 拡充						
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
3	事業名	下水道施設(管渠)改良事業(ハード)												
	目的 及び 概要	老朽化した管渠等の損傷による機能停止及び事故発生を未然に防ぐため、長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づき対策工事を実施する。	H 31 年度	内 容	①計画に基づく改築更新 【長寿命化計画】(9,880万円) 公共下水道山手台排水区管渠更生工事						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
											H34 年度	継続		
											H35 年度	継続		
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	98.8	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度	継続						
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	下水道施設(管渠)改良事業(ソフト)																		
	目的 及び 概要	老朽化した管渠等の損傷による機能停止及び事故発生を未然に防ぐため、下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行い、計画的に施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設管理の最適化を図るためのストックマネジメント計画(以下、SM計画)を策定する。	H 31 年度	内 容	①SM計画策定(調査・点検含む)(6,443万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)								
					H32 年度		継続		H33 年度		継続		H34 年度		継続					
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		64.5		うち市負担分 (百万円)		27.2	
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		64.5		うち市負担分 (百万円)		27.2	
担当課	部名	建設部		課名	下水道施設課		会計区分		下水企業		事業区分		ソフト							
5	事業名	下水道施設(ポンプ場)改良事業(ハード)																		
	目的 及び 概要	公共下水道ポンプ場の適正な運転稼働を保つため、長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づき、対策工事を実施する。	H 31 年度	内 容	①計画に基づく機械・電気設備等の更新工事【長寿命化計画(大池ポンプ場)】(35,000万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)								
					H32 年度		継続		H33 年度		継続		H34 年度		継続					
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		350.0		うち市負担分 (百万円)		31.9	
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		350.0		うち市負担分 (百万円)		31.9	
担当課	部名	建設部		課名	下水道施設課		会計区分		下水企業		事業区分		ハード							
6	事業名	下水道施設(ポンプ場)改良事業(ソフト)																		
	目的 及び 概要	公共下水道ポンプ場の適正な運転稼働を保つため、点検調査を実施し、電気・機械設備の更新計画等を定めた「SM計画」策定及び耐震化を進める。	H 31 年度	内 容	①SM計画策定(調査・点検含む) ②耐震診断、実施設計(8,204万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)								
					H32 年度		継続		H33 年度		継続		H34 年度		継続					
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		82.1		うち市負担分 (百万円)		11.5	
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		82.1		うち市負担分 (百万円)		11.5	
担当課	部名	建設部		課名	下水道施設課		会計区分		下水企業		事業区分		ソフト							
7	事業名	公共下水道整備事業(汚水)																		
	目的 及び 概要	公共用水域の水質保全、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、公共下水道(汚水)の整備を進める。 公共下水道計画区域内における下水道施設の整備促進を図る。	H 31 年度	内 容	①整備工事費 大池ポンプ場発電機増設、勝尾寺汚水第4号幹線(大字宿久庄)ほか ②測量設計費 安威排水区ほか管渠実施設計							事業の方向性 の見込み (対前年度比)								
					H32 年度		継続		H33 年度		継続		H34 年度		継続					
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		334.5		うち市負担分 (百万円)		0.1	
					H35 年度		継続		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		334.5		うち市負担分 (百万円)		0.1	
担当課	部名	建設部		課名	下水道施設課		会計区分		下水企業		事業区分		ハード							

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名 合併処理浄化槽整備事業											
	目的 及び 概要	公共用水域の水質保全、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、合併処理浄化槽の整備を進める。 合併処理浄化槽区域内における生活排水施設の整備促進を図る。	H 31 年度	内 容	①整備工事費 ②測量設計費 ③工事関係負担金 7人槽 2基分 21人槽 1基分						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H32 年度		継続					
					H33 年度		継続					
		H34 年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	19.5	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度		継続	
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード				

9	事業名 水洗便所普及事業											
	目的 及び 概要	下水道供用開始区域及び合併処理浄化槽区域における水洗化を促進し、生活環境の向上を図る。	H 31 年度	内 容	①公共下水道への切り替えを促進するため、助成金の支給及び、改造資金の貸付 ②公設浄化槽への切り替えを促進するため、助成金の支給及び、改造資金を貸付						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H32 年度		継続					
					H33 年度		継続					
		H34 年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度		継続	
担当課	部名	建設部	課名	下水道総務課	会計区分	下水企業	事業区分	ソフト				

10	事業名 騒音・振動規制法等関連事務事業											
	目的 及び 概要	工場・事業場の事業活動や建設工事に伴い発生する騒音及び振動を規制することにより、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H 31 年度	内 容	①規制基準の設定 ②設置届出等の受理及び審査 ③特定建設作業に係る届出の受理及び審査 ④立入調査 ⑤拡声器の使用及び深夜における音響機器の使用に関する規制						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H32 年度		継続					
					H33 年度		継続					
		H34 年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度		継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

11	事業名 公害苦情・相談事務事業											
	目的 及び 概要	大気・水質・騒音・振動などに関し、公害苦情及び相談を受けたときは、関係課と連携し、発生源事業所に対する改善指導を行い、良好な生活環境を保全する。	H 31 年度	内 容	①苦情・相談の受付 ②関係課との連携 ③現場確認 ④原因調査 ⑤苦情・相談者に報告						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					H32 年度		継続					
					H33 年度		継続					
		H34 年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度		継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

12	事業名	環境監視事務事業													
	目的 及び 概要	市内の大気汚染、水質汚濁、騒音の状況を把握するため、大気常時監視や酸性雨調査、河川及び地下水の水質測定、一般環境及び道路沿道の騒音測定を行う。また、オキシダント緊急時等の際には、関係機関に通報連絡する。 【関連取組:6-2-3 生物多様性の保全】				H 31 年度	内 容	①測定局の維持管理 ②水質測定業務における水生生物モニタリング調査において、調査地点を拡大し、精度の向上を図る ③一般地域及び主要幹線道路の騒音測定 ④測定結果の評価及び公表 ⑤名神局廃止による維持管理費等の減 ⑥主要幹線道路の騒音測定調査における電子地図の更新					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	8.9	うち市負担分 (百万円)	8.9	H32 年度	臨時 拡充
													H33 年度	継続	
													H34 年度	臨時 拡充	
													H35 年度	臨時 拡充	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
13	事業名	環境アセスメントに関する事務事業													
	目的 及び 概要	環境に著しい影響を及ぼすおそれのある開発事業の実施に当たり、事業が環境の保全に十分に配慮して行われるよう、環境影響評価の実施や各方面からの意見の反映を指導する。				H 31 年度	内 容	①開発者及び庁内関係課との調整 ②法に基づく環境影響評価が行われる場合、事業者に対し意見を述べ、国、府と連絡 ③府条例に基づく環境影響評価が行われる場合、府に対し意見書の提出					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
													H35 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
取 組	6-1-2	新たな環境課題への対応													
14	事業名	PRTR法等関連事務事業													
	目的 及び 概要	「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、特定化学物質の環境への排出量等の届出を事業者が行い、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する。				H 31 年度	内 容	①届出の受理及び審査 ②国への届出 ③結果の公表 ④施設の状況等に関する報告要求及び立入検査 ⑤事業所における化学物質管理計画書の作成を促進します。					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
													H35 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
15	事業名	ライフサイエンス環境保全対策事務事業													
	目的 及び 概要	遺伝子組換え実験等を行うライフサイエンス系施設設置者に対し必要な規制を行うことで、地域住民の健康を守り、良好な生活環境を保全する。				H 31 年度	内 容	①施設設置予定者との協議 ②専門委員会の開催 ③協定の締結及び運用 ④立入調査					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H32 年度	継続
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
													H35 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

取 組		6-1-3		快適環境の保全										
16	事業名		路上喫煙防止対策事業											
	目的 及び 概要	周りに迷惑をかける路上喫煙を市域からなくし、市民等の安全及び健康的な生活環境を確保するため、路上喫煙の実態を把握するとともにその防止に関する啓発を行う。	H 31 年 度	内 容	①路上喫煙の実態を把握するための調査を実施 ②職員、委託業者による巡回指導や市主催のイベント等において啓発活動の実施 ③市内各団体や大学と連携し、喫煙マナーの啓発を実施 ④新たな路上喫煙禁止地区の指定及び喫煙場所の設置に向けた調査・検討の実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H32 年度		継続							
					H33 年度		継続							
					H34 年度		継続							
		方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	7.4	うち市負担分 (百万円)	7.4	H35 年度		継続				
担当課	部名	市民文化部		課名	市民生活相談課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
17	事業名		動物愛護推進事業											
	目的 及び 概要	捨て猫をなくし、動物愛護についての意識の高揚や動物の虐待の防止を図るため、猫の飼い主及び一定要件を満たす所有者不明猫を減らす活動を行う団体に対して避妊・去勢手術費の一部を補助する。また、犬等の飼い主のマナー向上を図るための啓発活動を行う。	H 31 年 度	内 容	①猫の飼い主等に対する避妊・去勢手術費の補助 ②所有者不明猫活動団体の育成 ③犬猫の飼い方教室の実施 ④犬猫の適正飼養に向けた啓発冊子の作成						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H32 年度		継続							
					H33 年度		継続							
					H34 年度		継続							
		方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	1.8	うち市負担分 (百万円)	1.8	H35 年度		継続				
担当課	部名	市民文化部		課名	市民生活相談課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
18	事業名		ごみ屋敷等対応事務事業											
	目的 及び 概要	ごみ屋敷や適正に管理されていない空き家問題を解決し、快適な生活環境を確保する。	H 31 年 度	内 容	①市内横断的な対応を図り、問題解決に努める ②いわゆる「ごみ屋敷」支援連絡会の運営						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H32 年度		継続							
					H33 年度		継続							
					H34 年度		継続							
		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度		継続				
担当課	部名	市民文化部		課名	市民生活相談課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
19	事業名		不法屋外広告物対策等環境美化推進事業(資源循環課分)											
	目的 及び 概要	協議会と協働して不法屋外広告物等の撤去活動や、街頭キャンペーン(6月、9月)、市内一斉清掃(6月)を実施し、美化意識の啓発・向上を図る。	H 31 年 度	内 容	①茨木市不法屋外広告物等撤去対策協議会総会の開催 ②不法屋外広告物等撤去活動(6月) ③街頭キャンペーン(6月、9月) ④市内一斉清掃(6月)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H32 年度		縮小							
					H33 年度		継続							
					H34 年度		継続							
		方向性 (対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	1.6	うち市負担分 (百万円)	1.6	H35 年度		継続				
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			

20	事業名	不法投棄防止・対応事業											
	目的 及び 概要	不法投棄物を撤去することにより、清潔で美しい地域環境を保全する。			H 31 年度	内 容	①市街地はもとより、不法に投棄される事が多い山間部を中心にパトロールの実施 ②大阪府(産業廃棄物の不法投棄)と警察と連携した啓発や対策 ③常時、パトロール車両で不法に投棄された廃棄物の収集 ④適宜、啓発看板設置					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	1.0	H32 年度	継続
												H33 年度	継続
												H34 年度	継続
												H35 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		
21	事業名	ごみ集積場所美化事業											
	目的 及び 概要	ごみ集積場所においてごみが散乱している状況にあるため、パトロール車で啓発を行い、清潔で美しい地域環境を保全する。			H 31 年度	内 容	①ごみが散乱している集積場所を中心にパトロールの実施 ②適正に排出されるよう指導を行う ③適宜、啓発看板設置					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.5	うち市負担分 (百万円)	0.5	H32 年度	継続
												H33 年度	継続
												H34 年度	継続
												H35 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		
22	事業名	不法屋外広告物対策等環境美化事業(環境事業課分)											
	目的 及び 概要	不法広告物を迅速に撤去するとともに掲示者への指導を行う事によって、美化意識の啓発・向上を図り美しいまちを保全する。			H 31 年度	内 容	①常時、パトロール車両で違法屋外広告物の簡易除却をおこなう					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.5	H32 年度	継続
												H33 年度	継続
												H34 年度	継続
												H35 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取 組		6-1-1		健康に過ごすことができる生活環境の保全						
E1	事業名	特定環境保全公共下水道整備事業(H30年度事業完了)								
	目的 及び 概要	公共用水域(安威川ダム湖)の水質保全、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、公共下水道(汚水)の整備に努めた。 特定環境保全公共下水道区域内における下水道施設の整備が概ね完了した。								
	担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード	

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施 策	6-2	バランスのとれた自然環境をつくる
施策の方向性	みどりを育む取組や生態系への配慮を推進するとともに、身近な「まちの緑」「農地」「里山」「水辺」を保全し、自然とふれあう機会の創出に取り組み、人の生活と自然とのバランスのとれた自然環境を創ります。	
取 組 ★:重点プラン 該当取組	1	都市とみどりの共存
	2	★ 自然資源の利用の推進
	3	生物多様性の保全
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-2-1		都市とみどりの共存										
1	事業名	緑の基本計画推進事業												
	目的 及び 概要	緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する目標や取り組み方針、施策等を定め、総合的かつ計画的に実施する。 【関連取組:5-5-2 都市におけるみどりの形成】	H 31 年度	内 容	①花と緑の街角づくり推進事業 708万円 ②民有地緑化助成事業 105万円 ③緑の相談事業 26万円 ④緑の勉強会の実施 6万円 ⑤バラせん定実技講習会の実施 23万円 ⑥バラセミナーの実施 25万円 ⑦みどり活用の試行を支援							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
					H32 年度		拡充		H33 年度		継続			
					H34 年度		継続		H35 年度		継続			
					方向性 (対前年度比)		拡充	事業費 (百万円)	8.9	うち市負担分 (百万円)	8.9	H35 年度		継続
	担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト
2	事業名	ヒートアイランド対策事業												
	目的 及び 概要	ヒートアイランド対策や環境意識の高揚のため、市内の学校等においてみどりのカーテンを設置するとともに、市民・事業者の取り組みに支援を行う。	H 31 年度	内 容	①説明会の実施 ②苗の配布							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
					H32 年度		継続		H33 年度		継続			
					H34 年度		継続		H35 年度		継続			
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H35 年度		継続
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト
3	事業名	安威川河川敷クリーンキャンペーン推進事業												
	目的 及び 概要	親しみとるおいのある水辺空間として広く市民に親しまれている安威川河川敷の環境美化活動を、地域住民と行政が一体となって推進することにより、良好な水辺環境の保全と向上を図る。	H 31 年度	内 容	①大阪府と市が共催し、地元自治会や関係団体の協力を得て安威川河川敷の清掃活動を実施する							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
					H32 年度		継続		H33 年度		継続			
					H34 年度		継続		H35 年度		継続			
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度		継続
	担当課	部名	建設部		課名	下水道施設課		会計区分		一般		事業区分		ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	親水水路整備事業												
	目的 及び 概要	市内中心部の高瀬川・小川親水水路及び南部地域の島地区せせらぎ水路を適切に管理し、市民にとって憩いとうるおいのある水辺空間を維持する。	H 31 年度	内 容	①高瀬川・小川については直営にて維持管理 ②島地区についてはシルバー人材センターに委託							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.1	うち市負担分 (百万円)	1.1	H34 年度	継続	H35 年度		継続	
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
取 組	6-2-2	★ 自然資源の利用の推進												
5	事業名	◎ 市民参加型森林保全事業												
	目的 及び 概要	市民参加型の里山保全を推進することにより、美しい里山景観の復元や水源涵養能力など森林の持つ多面的機能を発揮させるほか、森林ボランティアを育成し、市民参加型の里山保全を推進する。 【関連事業:6-2-3 生物多様性の保全】	H 31 年度	内 容	①森林サポーター養成講座の実施							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.9	うち市負担分 (百万円)	1.7	H34 年度	継続	H35 年度		継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
6	事業名	茨木市里山センター運営事業												
	目的 及び 概要	市民参加による自主的な里地里山の保全活動を推進するため森林ボランティアの人材育成と保全活動の拠点施設としての役割を持つ里山センターを、指定管理者制度により運営を行う。	H 31 年度	内 容	①指定管理料及び指定管理者が行う事業として市が指定した事業(里山まつり等含む)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	12.9	うち市負担分 (百万円)	12.9	H34 年度	継続	H35 年度		継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
7	事業名	【再掲】林業推進事業												
	目的 及び 概要	公益的な機能を有する森林の健全な管理育成と、都市と農村の交流の場として森林空間の提供を行うほか、林業者団体が実施する森林整備作業に対し支援を行う。 【関連事業:5-1-1 農林業の振興】	H 31 年度	内 容	①林業者団体等が実施する森林整備事業への補助 ②森林整備に必要な林道の維持							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(9.8)	うち市負担分 (百万円)	(9.8)	H34 年度	継続	H35 年度		継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		6-2-3		生物多様性の保全											
8	事業名		生物多様性保全事業												
	目的 及び 概要	市内の様々な環境資源(動植物)の生育・育成環境を守り、再生していくことを目的とし、環境資源調査の継続実施、生物多様性の啓発などを行う。	H 31 年 度	内 容	①生物多様性連続講座の実施 ②環境資源調査(補完調査)の実施							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H32 年度	継続		
												H33 年度	継続		
												H34 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.3	H35 年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							
9	事業名		河川体験型環境教育事業												
	目的 及び 概要	子どもと保護者が実際に川に入り、水生生物を捕獲・観察・同定することで、生物多様性など環境意識を向上させる。	H 31 年 度	内 容	①市民団体に委託し事業の実施(講師との調整は市民団体が行う)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H32 年度	継続		
												H33 年度	継続		
												H34 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.6	H35 年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							
10	事業名		ホテル再生事業												
	目的 及び 概要	公園における自然環境回復として、ホテルの生息環境を整え、保護し、生物と触れ合う機会を創出することで、自然環境や生物多様性に対する意識を向上させる。また、環境保全団体等との連携により、ボランティアによる生息環境の保全管理をめざす。	H 31 年 度	内 容	①ホテル生息環境管理 120万円 ②ボランティアによる保全管理を検討							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H32 年度	継続		
												H33 年度	継続		
												H34 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H35 年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							
11	事業名		◎【再掲】市民参加型森林保全事業												
	目的 及び 概要	市民参加型の里山保全を推進することにより、美しい里山景観の復元や水源涵養能力など森林の持つ多面的機能を発揮させるほか、森林ボランティアを育成し、市民参加型の里山保全を推進する。 【関連事業:6-2-2 自然資源の利用の推進】	H 31 年 度	内 容	①森林サポーター養成講座の実施							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H32 年度	継続		
												H33 年度	継続		
												H34 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.9)	うち市負担分 (百万円)	(1.7)	H35 年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施 策	6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす
施策の方向性	市が率先して省エネルギー対策を行うとともに、市民や事業者と連携して、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの推進に努めます。また、情報交換の場を通じてさまざまな主体が連携し、新たな取組の輪を広げ、ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざします。	
取 組 ★:重点プラン 該当取組	1	省エネルギーの実践及び普及啓発
	2	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組	6-3-1	省エネルギーの実践及び普及啓発									
1	事業名	エコポイント制度実施事業									
	目的 及び 概要	環境基本計画の環境像である「心がけから行動へ」一步踏み出すよう促すため、環境教育への参加、省エネ行動などの環境配慮行動を行なった市民に対し、エコポイントを発行し、指定物品との交換等できる制度を実施し、環境と地域の活性化の好循環をめざす。		H 31 年 度	内 容	①市を事務局としてポイント発行 ②プラットホームにおいて意見交換 ③拡充策を実施 ④エコポイントのデジタル化や他課のポイント制度との連携を検討				事業の方向性の見込み (対前年度比)	
										H32 年度	継続
										H33 年度	継続
										H34 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.8	うち市負担分 (百万円)	0.8
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
2	事業名	環境フェア開催事業									
	目的 及び 概要	本市の環境の現状などをわかりやすく提供し、これからの市域環境を市民とともに保全・創造する契機とするため、市民団体や事業者の参画のもと、市民一人ひとりが取り組むべきことを、催し物などを通じて分かりやすく紹介し、環境への理解を深める場とする。市が、事業実施に伴う会場設営費や運営経費などを負担する。		H 31 年 度	内 容	①中央公園北グランド及びクリエイティブセンター1・2階部分で実施 ②3階部分のコーナーについては、中央公園北グランドにテントを設置し、出展希望を募る ③実施日については、農業祭と同日開催し、より効果的な集客を目指す。				事業の方向性の見込み (対前年度比)	
										H32 年度	継続
										H33 年度	継続
										H34 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.5	うち市負担分 (百万円)	6.5
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
3	事業名	環境教育・啓発事業									
	目的 及び 概要	将来を担う子どもたちをはじめとする幅広い市民を対象に、環境に関する学習会・研修会・観察会等を開催し、環境保全意識を高め、環境行動につなげていく。実施にあたっては、市が直接実施するほか、環境教育ボランティアや市内環境保全活動市民団体と協働する。		H 31 年 度	内 容	①小学校向け環境教育の充実 ②茨木の環境をテーマとした「身近な環境と向き合う講座」を開催 ③様々な団体と協働で環境教育を実施するとともに、環境教育サポーター制度を運用				事業の方向性の見込み (対前年度比)	
										H32 年度	拡充
										H33 年度	継続
										H34 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.6	うち市負担分 (百万円)	1.6
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 ライフスタイルの省エネ化推進事業														
	目的 及び 概要	省エネ化を推進するため、イベントや広報媒体を活用して、省エネ活動につながる啓発を行うとともに、市民に省エネナビ(家庭用電力使用量測定機器)と環境家計簿の普及促進を行う。				H 31 年度	内 容	①啓発事業の実施 ②エコポイント制度と組み合わせるなど、効果的な普及方法を検討し実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	1.0	H35 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

5	事業名 「COOL CHOICE」推進事業														
	目的 及び 概要	政府が地球温暖化対策として、また本市においても市長を先頭に積極的に推進していくこととしている「COOL CHOICE」について、市民自らが実施する取組を募集し、優秀な取組については、HP・チラシ等に掲載することで、より広く効果的な啓発を図る。				H 31 年度	内 容	①「COOL CHOICE」コンテストの実施 ②優秀な取組の啓発						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H32 年度	拡充
														H33 年度	縮小
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H35 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

6	事業名 エコオフィスプランいばらき推進事業														
	目的 及び 概要	市自らが消費者・事業者として取り組むべき環境配慮を徹底し、環境への負荷の少ない職場づくりを行う。 平成25年3月にISO14001の認証を返上し、独自のPDCAサイクルである「エコオフィスプランいばらき(第4版)」に基づき、全庁的に取り組んでいる。				H 31 年度	内 容	①見直し後の新計画を継続実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H35 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

7	事業名 地球温暖化対策実行計画等推進事業														
	目的 及び 概要	「地球温暖化対策実行計画」の効果的な推進のため、環境審議会の地球温暖化対策推進部会による計画の進行管理を行うとともに市民・事業者等との意見交換の場を設ける。				H 31 年度	内 容	①計画の進捗管理 ②市民・事業者等との意見交換(プラットフォーム)を実施 ③計画の見直し検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H32 年度	臨時 拡充
														H33 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H35 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

取 組		6-3-2		再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進													
8	事業名		太陽光発電システム等導入推進事業														
	目的 及び 概要	再生可能エネルギーの普及促進や省エネ、省CO2を推進し、環境負荷の軽減を図るため、太陽光発電システム、太陽熱利用システム、蓄電システムを設置した市民及び家庭用燃料電池を太陽光発電システムと同時設置（申請）した市民にその経費の一部を補助する。また、公共施設への再生可能エネルギーの効果的な導入のため、国の施策や補助金等の活用を検討し、施設担当課への情報提供を行う。			H 31 年 度	内 容	①太陽光発電システム、家庭用燃料電池、蓄電システム等への補助を実施 ②再生可能エネルギーの公共施設への導入検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
													H32 年度	継続			
													H33 年度	継続			
													H34 年度	継続			
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	12.6	うち市負担分 (百万円)	12.6	H35 年度	継続										
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
9	事業名		省エネ・省CO2設備導入補助事業														
	目的 及び 概要	省エネルギー改修を実施する中小企業者に対し、市が補助金を交付することにより省エネルギー設備及び新エネルギー利用設備の普及並びに二酸化炭素排出量の削減を促進し、もって市域の低炭素化を図る。			H 31 年 度	内 容	①省エネ・省CO2設備を導入する市内事業所へ補助を実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
													H32 年度	継続			
													H33 年度	継続			
													H34 年度	継続			
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	12.0	うち市負担分 (百万円)	12.0	H35 年度	継続										
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
10	事業名		街路灯LED化促進事業														
	目的 及び 概要	既存の街路灯を計画的にLED灯に転換することにより、環境負荷の低減を図る。			H 31 年 度	内 容	①計画的なLED灯への転換(目標転換率95%)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
													H32 年度	完了			
													H33 年度	-			
													H34 年度	-			
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	20.0	うち市負担分 (百万円)	20.0	H35 年度	-										
担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
11	事業名		エコカー等導入促進事業														
	目的 及び 概要	業務の迅速かつ機動的な活動を援助するため、公用車(軽自動車、単車、自転車)を配置しているが、低公害車・電動自転車を効率的に配車することで、ガソリン等の燃料使用量を減らすとともに省エネルギーの実践に努め、低炭素なまちづくりの実現に貢献する。			H 31 年 度	内 容	①環境に配慮した低公害車、電動自転車の効率的な配車により、ガソリン等の燃料使用量を減らすことにより、低炭素なまちづくりの実現に貢献するとともに、燃料費の一層の削減を図る。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
													H32 年度	縮小			
													H33 年度	縮小			
													H34 年度	継続			
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	12.0	うち市負担分 (百万円)	12.0	H35 年度	継続										
担当課	部名	総務部		課名	総務課		会計区分		一般		事業区分		ハード				

12	事業名		市営駐車場へのLED導入事業									
	目的 及び 概要	環境負荷の低減及び節電を図るため、市営 駐車場にLED照明設備等を導入する。	H 31 年 度	内 容	①南茨木駅北自転車駐車場をLED化						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H32 年度	完了
											H33 年度	-
											H34 年度	-
					方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	3.4	うち市負担分 (百万円)	3.4	H35 年度	-
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施 策	6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる
施策の方向性	資源の循環とごみの減量化を図るため、新たな分別品目の追加検討を行うとともに、市民等への意識啓発に努めるほか、処理施設については、炉の更新に向けて計画的に取り組めます。 また、市民、事業者は、ごみの発生抑制、再資源化に努め、きちんとした分別で資源の循環を進めます。	
取 組 ★:重点プラン 該当取組	1	減量化の推進
	2	再資源化の推進
	3	適正処理の推進
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組	6-4-1	減量化の推進
1	事業名	一般廃棄物処理計画推進事業
	目的 及び 概要	循環型社会の形成に資するため、10年スパンで「茨木市一般廃棄物処理基本計画」を策定するほか、5年毎の見直し及び年度毎の実施計画を策定する。また、計画の推進に必要な事業を企画するとともに、計画事業の進捗を管理する。 H 31 年度 ①進捗状況の確認及び評価の実施 ②実施計画の策定 ③廃棄物減量等推進審議会の運営 ④施策の立案及び見直し 事業の方向性の見込み (対前年度比) H32年度 臨時 H33年度 継続 H34年度 継続 H35年度 継続 方向性 (対前年度比) 継続 事業費 (百万円) 0.4 うち市負担分 (百万円) 0.4
	担当課	部名 産業環境部 課名 資源循環課 会計区分 一般 事業区分 ソフト
2	事業名	家庭系ごみ減量推進事業
	目的 及び 概要	循環型社会の形成に向け、市民がごみの減量化と再資源化に関する理解を深め、3Rの取組を実行できるよう、啓発等を行う。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】 H 31 年度 ①児童向け啓発冊子作成 ②出前講座の実施 ③ごみ分別アプリの運用 ④フードドライブの実施 ⑤(臨)雑がみ保管袋の作成(0.6百万円) 事業の方向性の見込み (対前年度比) H32年度 継続 H33年度 臨時 H34年度 継続 H35年度 継続 方向性 (対前年度比) 継続 事業費 (百万円) 1.3 うち市負担分 (百万円) 1.3
	担当課	部名 産業環境部 課名 資源循環課 会計区分 一般 事業区分 ソフト
3	事業名	事業系ごみ減量推進事業(ソフト)
	目的 及び 概要	循環型社会の形成に向け、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】 H 31 年度 ①事業所への訪問・指導 ②廃棄物管理責任者研修会の実施 ③紙ごみ分別ボックス設置補助 ④適正処理の啓発パンフレットの作成 事業の方向性の見込み (対前年度比) H32年度 継続 H33年度 継続 H34年度 継続 H35年度 継続 方向性 (対前年度比) 継続 事業費 (百万円) 3.4 うち市負担分 (百万円) 3.4
	担当課	部名 産業環境部 課名 資源循環課 会計区分 一般 事業区分 ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	生ごみ処理容器等支援事業											
	目的 及び 概要	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器等の購入費用を助成するなど、普及促進を図る。	H 31 年度	内 容	①生ごみ処理容器等の購入補助							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.3	H35 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
5	事業名	茨木市廃棄物減量等推進員活動促進事業											
	目的 及び 概要	各自治会等からの推薦により廃棄物減量等推進員を委嘱し、ごみの減量化と再資源化を図る地域のリーダーとして街頭啓発キャンペーンの参加や、地域での分別指導を行っていただく。また、市から推進員に情報提供(推進員ニュース年6回発行)を行う。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】	H 31 年度	内 容	①廃棄物減量等推進員の活動促進 ②(臨)ダンボールコンポストの配布(廃棄物減量等推進員対象)(0.2百万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.6	うち市負担分 (百万円)	1.6	H35 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
6	事業名	一般廃棄物処理業の許可及び指導監督事業											
	目的 及び 概要	事業系一般廃棄物の適正な収集及び運搬を図るため、一般廃棄物収集運搬業の許可事務及び許可業者に対する指導監督を行う。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】	H 31 年度	内 容	①一般廃棄物収集運搬業(し尿及び浄化槽汚泥を除く)の許可 ②一般廃棄物収集運搬業許可業者(し尿及び浄化槽汚泥を除く)の指導監督							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H35 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
7	事業名	広域連携事業											
	目的 及び 概要	他市と連携し、ごみの減量化・再資源化・適正処理を推進するため、国・府への要望活動をおこなうほか、災害時対応など地域の課題解決に向けた情報交換を行う。	H 31 年度	内 容	①北摂都市主担者会議への参加 ②北摂マイバッグ持参促進・レジ袋削減協議会に向けた意見交換会及びマイバッグキャンペーンの参加 ③北摂地域における災害等廃棄物の処理に係る相互支援協定運営協議会への参加							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

取 組		6-4-2		再資源化の推進													
8	事業名		再生資源集団回収報奨金事業														
	目的 及び 概要	ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみ減量に対する市民の意識向上を図るため、自主的に再生資源集団回収を行う地域住民団体等に対し、報奨金を支給する。			H 31 年 度	内 容	①集団回収を行う地域住民団体等に対し、報奨金を支給							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
														H32 年度	継続		
														H33 年度	継続		
														H34 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	21.2	うち市負担分 (百万円)	21.2	H35 年度	継続										
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
9	事業名		【再掲】家庭系ごみ減量推進事業														
	目的 及び 概要	循環型社会の形成に向け、市民がごみの減量化と再資源化に関する理解を深め、3Rの取組を実行できるよう、啓発等を行う。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】			H 31 年 度	内 容	①児童向け啓発冊子作成 ②出前講座の実施 ③ごみ分別アプリの運用 ④フードドライブの実施 ⑤(臨)雑がみ保管袋の作成(0.6百万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
														H32 年度	継続		
														H33 年度	臨時 拡充		
														H34 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.3)	うち市負担分 (百万円)	(1.3)	H35 年度	継続										
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
10	事業名		【再掲】事業系ごみ減量推進事業(ソフト)														
	目的 及び 概要	循環型社会の形成に向け、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】			H 31 年 度	内 容	①事業所への訪問・指導 ②廃棄物管理責任者研修会の実施 ③紙ごみ分別ボックス設置補助 ④適正処理の啓発パンフレットの作成							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
														H32 年度	継続		
														H33 年度	継続		
														H34 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(3.4)	うち市負担分 (百万円)	(3.4)	H35 年度	継続										
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
取 組		6-4-3		適正処理の推進													
11	事業名		ごみ処理施設運営事業														
	目的 及び 概要	市域で発生した一般廃棄物を適正確実に処理するため、事故のない安全で安定した施設運営を図るとともに、効率的な運用に努める。			H 31 年 度	内 容	①安全で安定した施設運営 ②バイオマス燃料を活用したごみ処理運転を継続実施する。 ③一般廃棄物処理手数料の見直しを検討する。							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
														H32 年度	継続		
														H33 年度	継続		
														H34 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2102.0	うち市負担分 (百万円)	2102.0	H35 年度	継続										
担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				

12	事業名	ごみ・し尿収集事業													
	目的 及び 概要	家庭等から排出されるごみ・資源物の効率的かつ円滑な収集を行い、減量化、再資源化を図る。また、し尿収集業務についても、円滑な収集を行い、快適な生活環境を保全し、公衆衛生の向上を図る。				H 31 年度	内 容	①ステーション方式による普通ごみ・粗大ごみ・資源物の収集 ②一般家庭及び従量、仮設トイレのし尿の収集 ③使用済小型家電及び水銀使用廃製品の拠点収集を継続実施する。					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1113.9	うち市負担分 (百万円)	1095.6	H32 年度	継続
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
													H35 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
13	事業名	スマイル収集事業													
	目的 及び 概要	高齢者及び障害者の方々の在住生活の支援と負担を軽減するため、家庭から排出されるごみをごみステーションに持ち出すことが困難な世帯に対して、決まった曜日に戸別訪問し、ごみの収集を行う。				H 31 年度	内 容	①高齢者及び障害者の世帯のごみの戸別収集					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H32 年度	継続
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
													H35 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
14	事業名	廃棄物処理施設整備調査・検討事業(ソフト)													
	目的 及び 概要	本市の廃棄物の将来を見据え、廃棄物処理施設の整備方針を「長寿命化」としたことにより、長寿命化総合計画を作成し、基幹的設備改良工事等を進める。 また、同施設の整備にあわせ、摂津市との広域処理について検討する。				H 31 年度	内 容	①基幹的設備改良工事に係る発注支援業務委託 ②摂津市との広域処理に係る検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	19.8	うち市負担分 (百万円)	13.2	H32 年度	継続
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
													H35 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
15	事業名	廃棄物処理施設整備調査・検討事業(ハード)													
	目的 及び 概要	廃棄物処理施設の整備方針に基づく長寿命化総合計画に沿って基幹的設備改良工事等を進める。				H 31 年度	内 容	①第1工場建屋劣化状況調査					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	53.0	うち市負担分 (百万円)	35.4	H32 年度	継続
													H33 年度	継続	
													H34 年度	完了	
													H35 年度	-	
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

16	事業名		災害廃棄物処理計画策定事業												
	目的 及び 概要	「茨木市地域防災計画」を補完するとともに、災害廃棄物の円滑な処理を推進するため、想定される災害に対しての事前準備や発災後の処理体制の整備などを内容とする「茨木市災害廃棄物処理計画」を策定する。				H 31 年度	内 容	①計画策定に向けた庁内検討会議の実施 ②計画策定に向けた課題の整理・項目の洗い出し・素案の作成(3.4百万円)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H32 年度	完了
														H33 年度	-
														H34 年度	-
														H35 年度	-
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
17	事業名		資源物持ち去り対策事業												
	目的 及び 概要	条例に規定する「資源物の収集又は運搬の禁止」条項に基づき、定期的にパトロールをし、持ち去り行為者に対し、必要な啓発や指導等を行う。				H 31 年度	内 容	①資源物持ち去りパトロール形態の見直し実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
														H35 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		